

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re application of: **Yuzo MIGITA**

Group Art Unit: **Not Yet Assigned**

Serial No.: **Not Yet Assigned**

Examiner: **Not Yet Assigned**

Filed: **August 22, 2003**

For: **KEEPING CASE AND PARTITION PLATE FOR THE SAME**

CLAIM FOR PRIORITY UNDER 35 U.S.C. 119

Commissioner for Patents
P.O. Box 1450
Alexandria, VA 22313-1450

Date: August 22, 2003

Sir:

The benefit of the filing date of the following prior foreign application is hereby requested for the above-identified application, and the priority provided in 35 U.S.C. 119 is hereby claimed:

Japanese Appln. No. 2002-248302, filed August 28, 2002

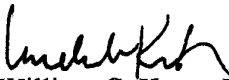
In support of this claim, the requisite certified copy of said original foreign application is filed herewith.

It is requested that the file of this application be marked to indicate that the applicant has complied with the requirements of 35 U.S.C. 119 and that the Patent and Trademark Office kindly acknowledge receipt of said certified copy.

In the event that any fees are due in connection with this paper, please charge our Deposit Account No. 01-2340.

Respectfully submitted,

ARMSTRONG, WESTERMAN & HATTORI, LLP


William G. Kratz, Jr.
Attorney for Applicant
Reg. No. 22,631

WGK/jaz
Atty. Docket No. **030992**
Suite 1000
1725 K Street, N.W.
Washington, D.C. 20006
(202) 659-2930



23850

PATENT TRADEMARK OFFICE

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2002年 8月28日

出 願 番 号

Application Number:

特願2002-248302

[ST.10/C]:

[JP2002-248302]

出 願 人

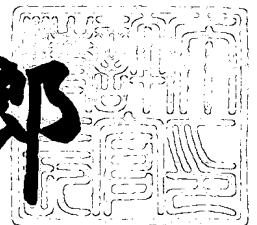
Applicant(s):

株式会社三晃商会

2003年 6月11日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

太田信一郎



出証番号 出証特2003-3045618

【書類名】 特許願

【整理番号】 TNP02-138

【提出日】 平成14年 8月28日

【あて先】 特許庁長官殿

【発明の名称】 飼育ケース

【発明者】

 【住所又は居所】 大阪府箕面市百楽荘 2 - 3 - 1 2

 【氏名】 右田 裕三

【特許出願人】

 【識別番号】 397055676

 【氏名又は名称】 株式会社三晃商会

【代理人】

 【識別番号】 100080746

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 中谷 武嗣

 【電話番号】 06-6344-0177

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 056122

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 飼育ケース

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 上方開口状容器本体（1）の内部を区画する仕切り壁片（2）が、上記容器本体（1）の上端開口縁（3）の平行な対辺（4）（4）に沿ってスライド自在に取付けられ、該仕切り壁片（2）が、上記容器本体（1）の上記対辺（4）（4）に係脱自在に係止する上方抜止め用係止部（5）（5）を有することを特徴とする飼育ケース。

【請求項 2】 係止部（5）が弾性変形自在な抱込片部（6）、及び、該抱込片部（6）に突設された爪部（7）を有する請求項 1 記載の飼育ケース。

【請求項 3】 仕切り壁片（2）が、その両側縁（9）（9）に、容器本体（1）の内面（10）に対応する倒れ・傾き防止用帯片部（11）を有する請求項 1 又は 2 記載の飼育ケース。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、飼育ケースに関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

一般に、昆虫や小動物や魚を中に入れて飼育するための飼育ケースは、雄と雌を分離するためや、仲の悪い者同士を分離して相互にケンカするのを防止するために、容器本体に区画板片を設ける。このような分離のための区画板片を有する飼育ケースは、従来、図 9 に示すようなものがあった。（ただし、蓋は、図示省略する。）

【0 0 0 3】

すなわち、従来の飼育ケースは、容器本体 30 の平行に相對する一対の側壁内面 31, 31 に、複数対の縦方向の溝 32 が設けられている。そして、一対の溝 32, 32 に、区画板片 33 を上方から差込んで、区画板片 33 を付設していた。

【0 0 0 4】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、容器本体30に複数本の溝32を成型しておく必要があり、金型費用が高くなっていた。また、複数本の溝32が目障りとなっていた。また、区画板片33によって区画される左右両空間の大きさ（容積）が、溝32の位置によって限られていた。（図例では区画パターンは、5段階に限られていた。）

【0 0 0 5】

そこで、本発明は、容器本体への溝の成型が不要で、金型費用が安い飼育ケースを提供することを目的とする。また、区画される左右両空間の大きさを無段階に増減することができる飼育ケースを提供することを他の目的とする。

【0 0 0 6】

また、不要なときは、仕切り壁片を容易に取外すことができる飼育ケースを提供することを他の目的とする。また、容器本体の側壁から内部の昆虫や小動物を美しく見ることができる飼育ケースを提供することを他の目的とする。また、仕切り壁片の取付け・取外しが容易な飼育ケースを提供することを他の目的とする。

【0 0 0 7】

【課題を解決するための手段】

上述の目的を達成するために、本発明に係る飼育ケースは、上方開口状容器本体の内部を区画する仕切り壁片が、上記容器本体の上端開口縁の平行な対辺に沿ってスライド自在に取付けられ、該仕切り壁片が、上記容器本体の上記対辺に係脱自在に係止する上方抜止め用係止部を有するものである。

【0 0 0 8】

また、係止部が弾性変形自在な抱込片部、及び、該抱込片部に突設された爪部を有するものである。また、仕切り壁片が、その両側縁に、容器本体の内面に対応する倒れ・傾き防止用帯片部を有するものである。

【0 0 0 9】

【発明の実施の形態】

以下、実施の形態を示す図面に基づき、本発明を詳説する。

【0 0 1 0】

図 1 は、本発明の第 1 の実施の形態を示す。この飼育ケースは、中に昆虫や小動物を入れて飼育するために使用される。飼育ケースは、透明又は半透明の材料（例えば、プラスチック、ガラス等）から成る容器本体 1 を有する。なお、本図面に於て、蓋部は、図示省略するが、この蓋部は通気孔（網目）を有すると共に取っ手を一般に備えて、持ち運びが容易となっている。

【 0 0 1 1 】

上方開口状容器本体 1 の内部を左右に区画する仕切り壁片 2 が、容器本体 1 の上端開口縁 3 の平行な対辺 4，4 に沿って、矢印 A 方向に無段階にスライド自在に取付けられる。仕切り壁片 2 を矢印 A₁ 方向にスライドさせると、容器本体 1 の右側の空間 X が狭くなり、左側の空間 Y が広がる。逆に、仕切り壁片 2 を矢印 A₂ 方向にスライドさせると、容器本体 1 の右側の空間 X が広くなり、左側の空間 Y が狭くなる。

【 0 0 1 2 】

図 2・図 3 に示すように、仕切り壁片 2 は、容器本体 1 の対辺 4，4 に係脱自在に係止する断面略門型の上方抜止め用係止部 5，5 を有する。係止部 5 は弾性変形自在な抱込片部 6、及び、抱込片部 6 の内面側に突設された断面略直角三角形の（くさび型の）爪部 7 を有する。

【 0 0 1 3 】

図 4～図 6 は、仕切り壁片 2 を容器本体 1 に付設するとき、係止部 5 が容器本体 1 に係止する様子を示す。すなわち、図 4 に示すように、容器本体 1 の上方から仕切り壁片 2 を矢印 C 方向に移動させる。

【 0 0 1 4 】

次に、図 5 に示すように、爪部 7 が容器本体 1 の折返し壁部 8 と接触し、抱込片部 6 及び折返し壁部 8 が弾性変形する。その後、抱込片部 6 及び折返し壁部 8 の弾発的復元力によって、図 6 に示すように、係止部 5 が、容器本体 1 に係止する。

【 0 0 1 5 】

図 1・図 7 に示すように、仕切り壁片 2 は、その両側縁 9，9 に、容器本体 1 の内面 10 に対応する倒れ・傾き防止用帯片部 11，11 を有する。この帯片部 11 によ

って、仕切り壁片 2 が、図 7 の矢印 B，B 方向にぶれる——倒れ・傾きする——のを防止することができる。

【0016】

帯片部 11 の最大幅寸法 W_0 は、 $5\text{mm} \leq W_0 \leq 30\text{mm}$ に設定される。最大幅寸法 W_0 が、 $W_0 < 5\text{mm}$ のときは、仕切り壁片 2 がぶれる方向（すなわち、図 7 の矢印 B，B 方向）に力を受けた場合、仕切り壁片 2 がぶれる虞れがあるとともに、仕切り壁片 2 が破損する虞れがある。また、最大幅寸法 W_0 が、 $30\text{mm} < W_0$ のときは、材料が無駄になってしまう。

【0017】

図 1 に示すように、係止部 5 の最大幅寸法 W_1 は、 $10\text{mm} \leq W_1 \leq 50\text{mm}$ に設定される。最大幅寸法 W_1 がこの範囲にあるとき、係止部 5 によって、仕切り壁片 2 が、図 7 の矢印 B，B 方向にぶれるのを、さらに効果的に防止することができる。

【0018】

最大幅寸法 W_1 が、 $W_1 < 10\text{mm}$ のときは、仕切り壁片 2 がぶれる方向（すなわち、図 7 の矢印 B，B 方向）に力を受けた場合、仕切り壁片 2 がぶれる虞れがあるとともに、仕切り壁片 2 が破損する虞れがある。また、最大幅寸法 W_1 が、 $50\text{mm} < W_1$ のときは、材料が無駄になってしまう。

【0019】

図 8 は、第 2 の実施の形態を示す。すなわち、仕切り壁片 2（図 1 ～図 7 参照）の爪部 7 が、その断面形状に於て、小アール部 12 を有する。このとき、仕切り壁片 2 を容器本体 1（図 1 ～図 7 参照）に係脱する際、容器本体 1 を傷つけたり、指を傷つけたりする虞れをなくすることができる。

【0020】

【発明の効果】

本発明は、上述の如く構成されるので、次に記載する効果を奏する。

【0021】

（請求項 1 によれば）容器本体 1 への溝の成型が不要で、金型費用が安い。また、区画される左右両空間 X，Y の大きさを無段階に増減することができる。ま

た、仕切り壁片 2 が不要なときは、容易に取外すことができる。また、容器本体 1 の側壁から内部の昆虫や小動物を美しく見ることができる。

【 0 0 2 2 】

(請求項 2 によれば) 仕切り壁片 2 を容易に取付け・取外しすることができる。

(請求項 3 によれば) 仕切り壁片 2 が、倒れたり、傾いたりすることがなく、その垂直状態を保持することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の第 1 の実施の形態を示す斜視図である。

【図 2】

断面側面図である。

【図 3】

要部拡大斜視図である。

【図 4】

説明用要部拡大断面側面図である。

【図 5】

説明用要部拡大断面側面図である。

【図 6】

説明用要部拡大断面側面図である。

【図 7】

平面図である。

【図 8】

第 2 の実施の形態を示す要部拡大断面側面図である。

【図 9】

従来例を示す斜視図である。

【符号の説明】

1 容器本体

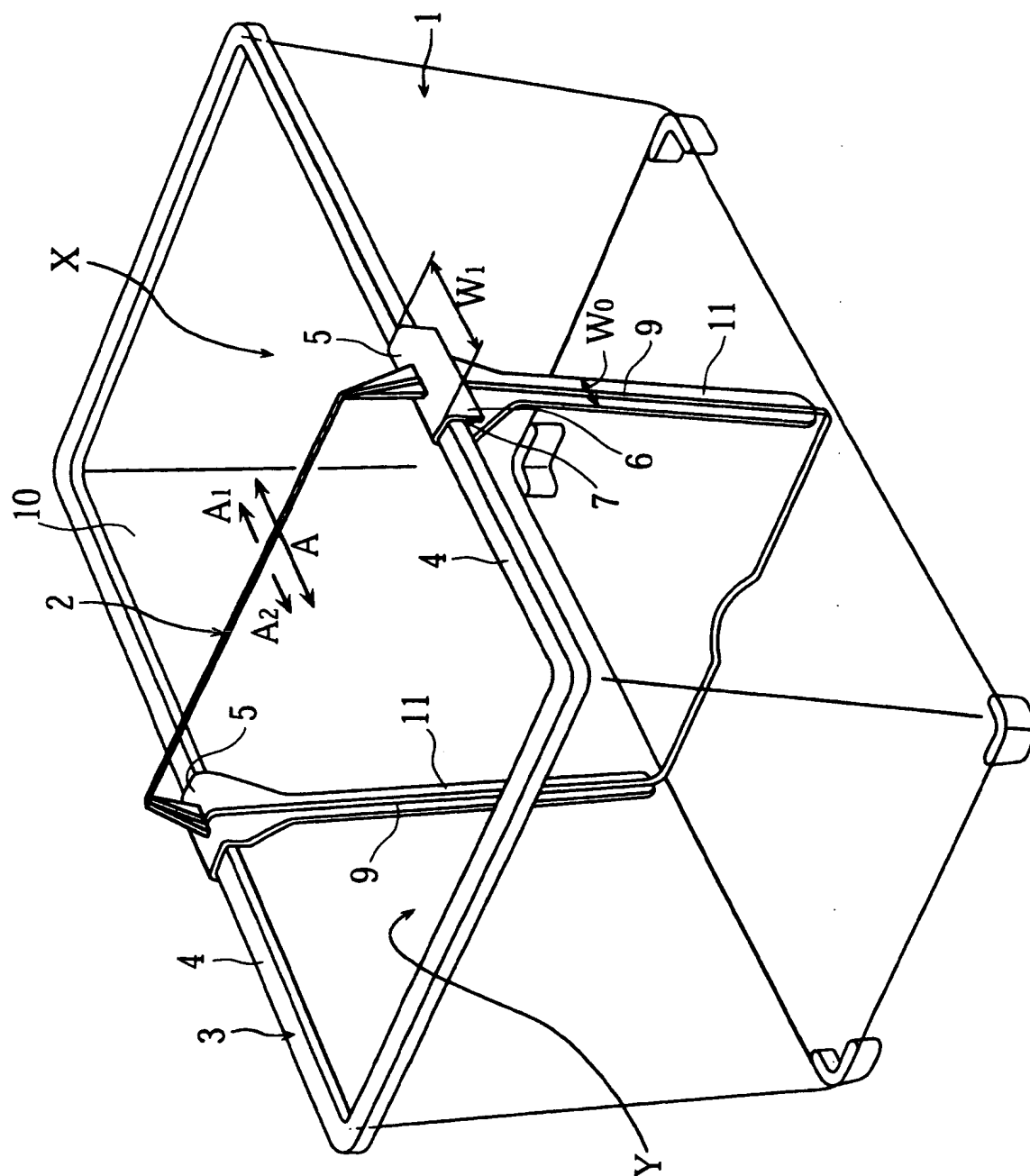
2 仕切り壁片

- 3 上端開口縁
- 4 対辺
- 5 (上方抜止め用) 係止部
- 6 抱込片部
- 7 爪部
- 9 側縁
- 10 内面
- 11 (倒れ・傾き防止用) 帯片部

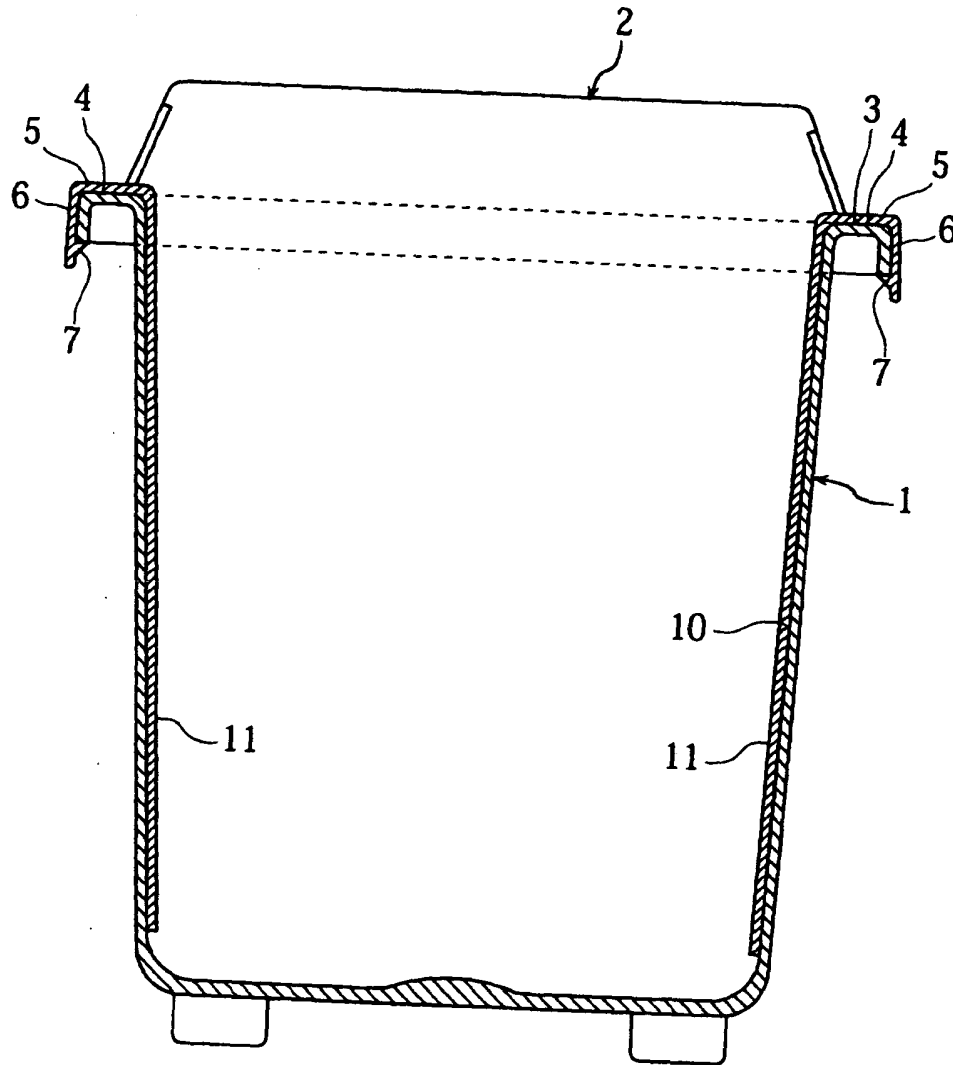
【書類名】

凶面

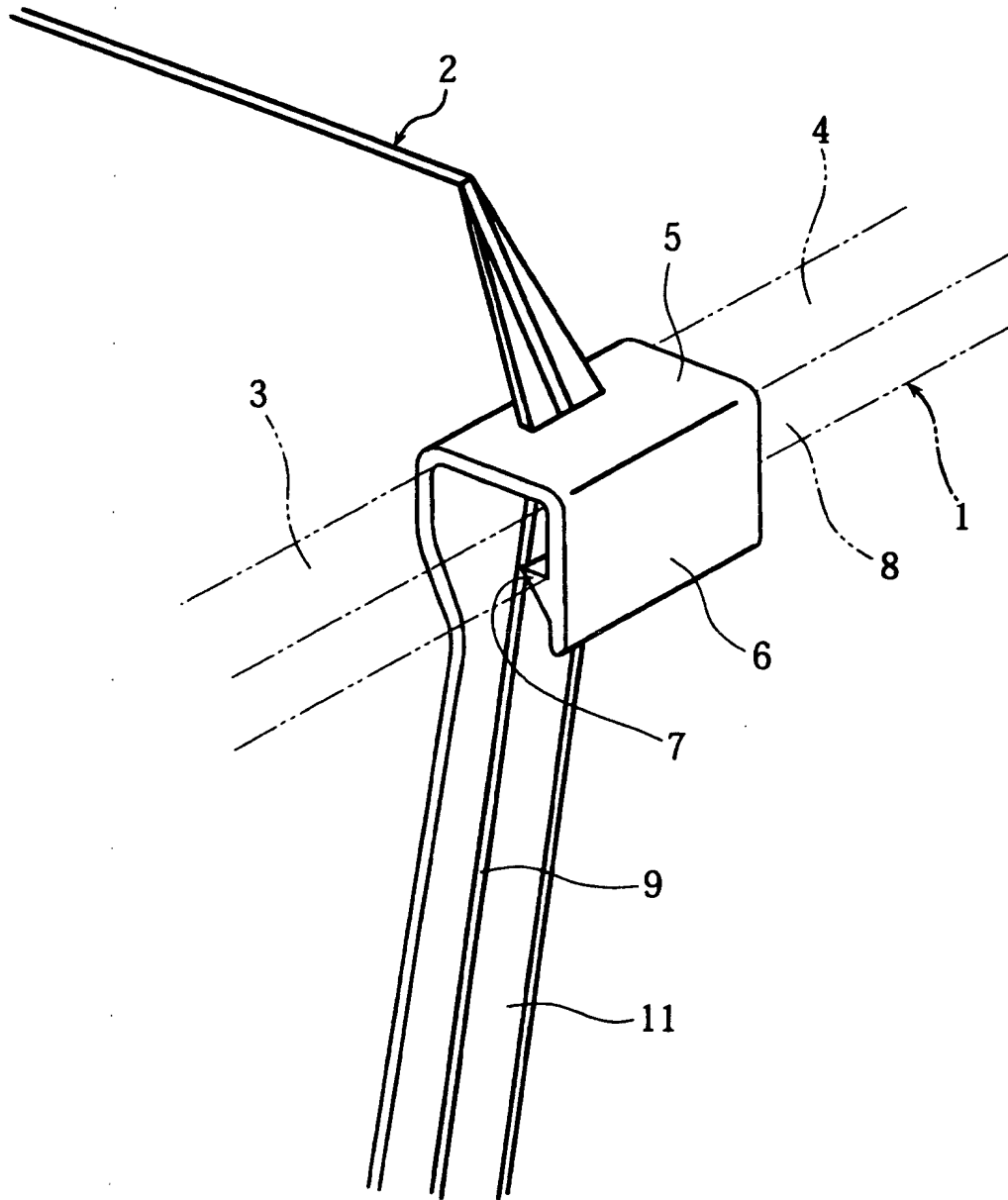
【圖 1】



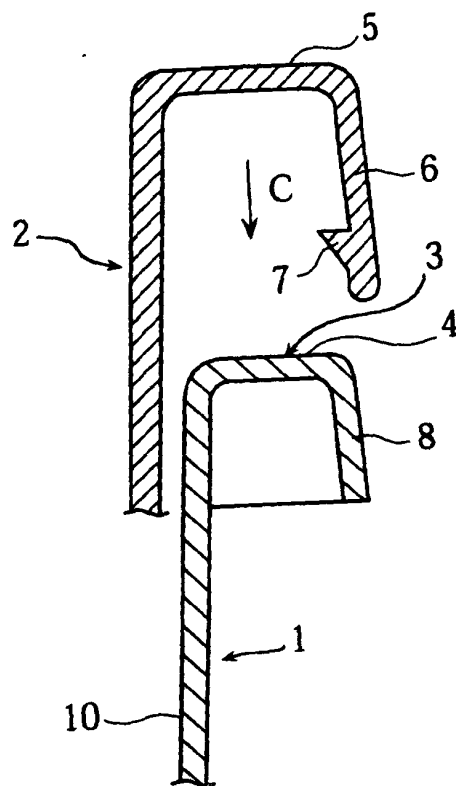
【図 2】



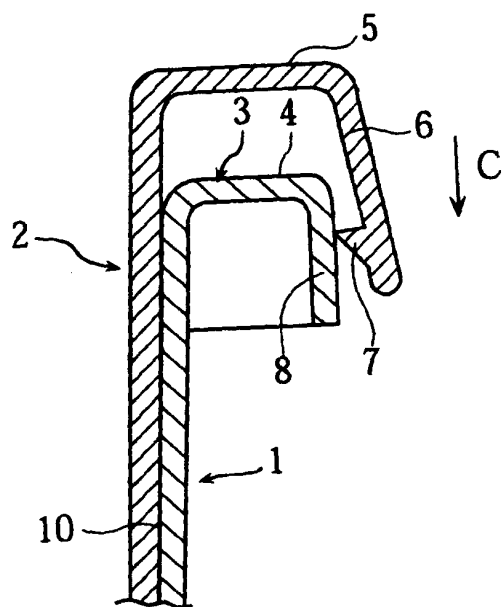
【図 3】



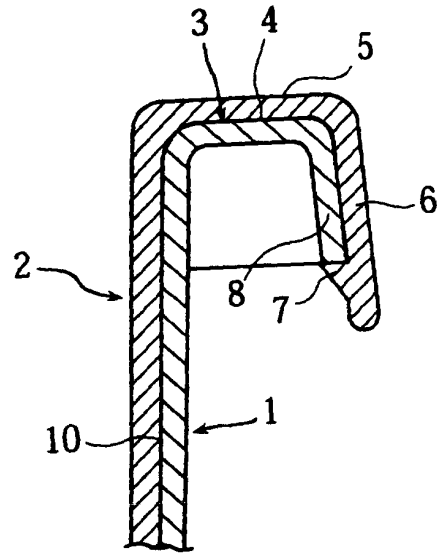
【図4】



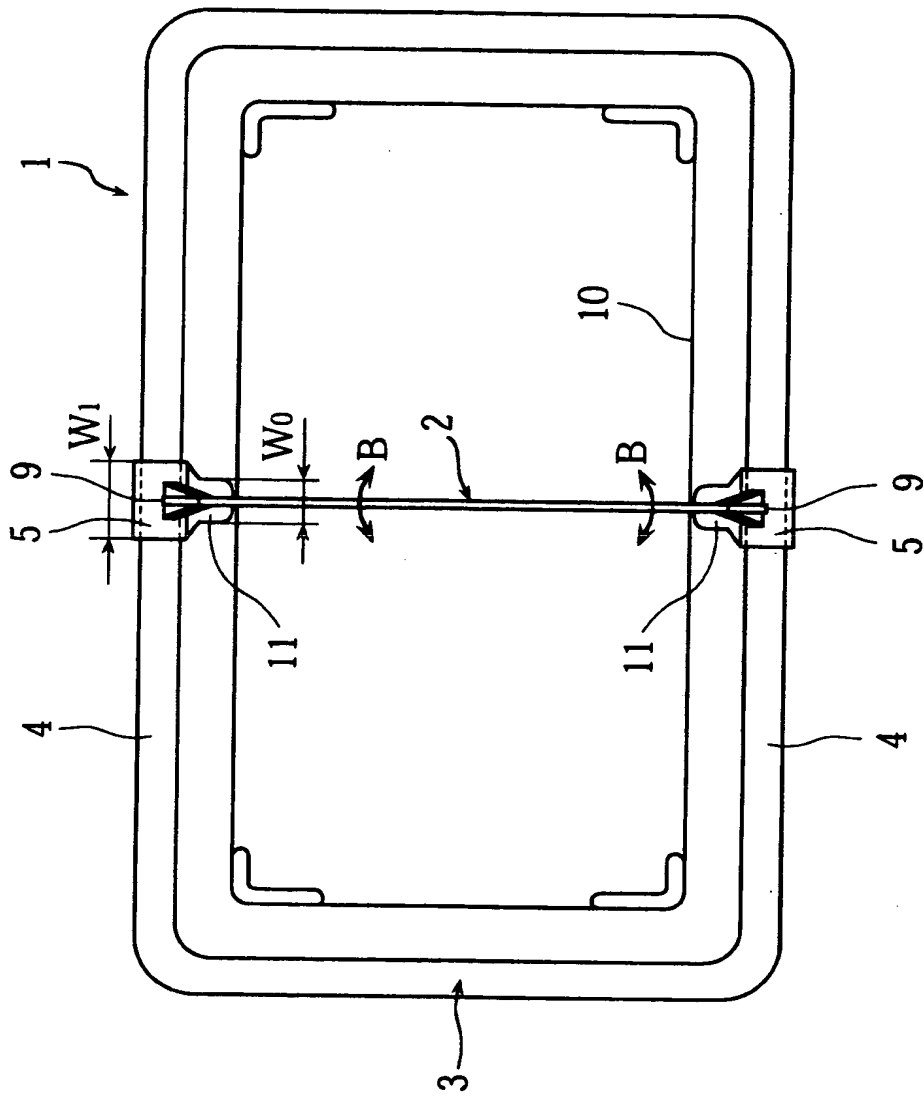
【図5】



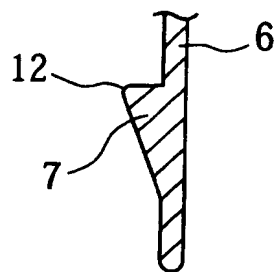
【図 6】



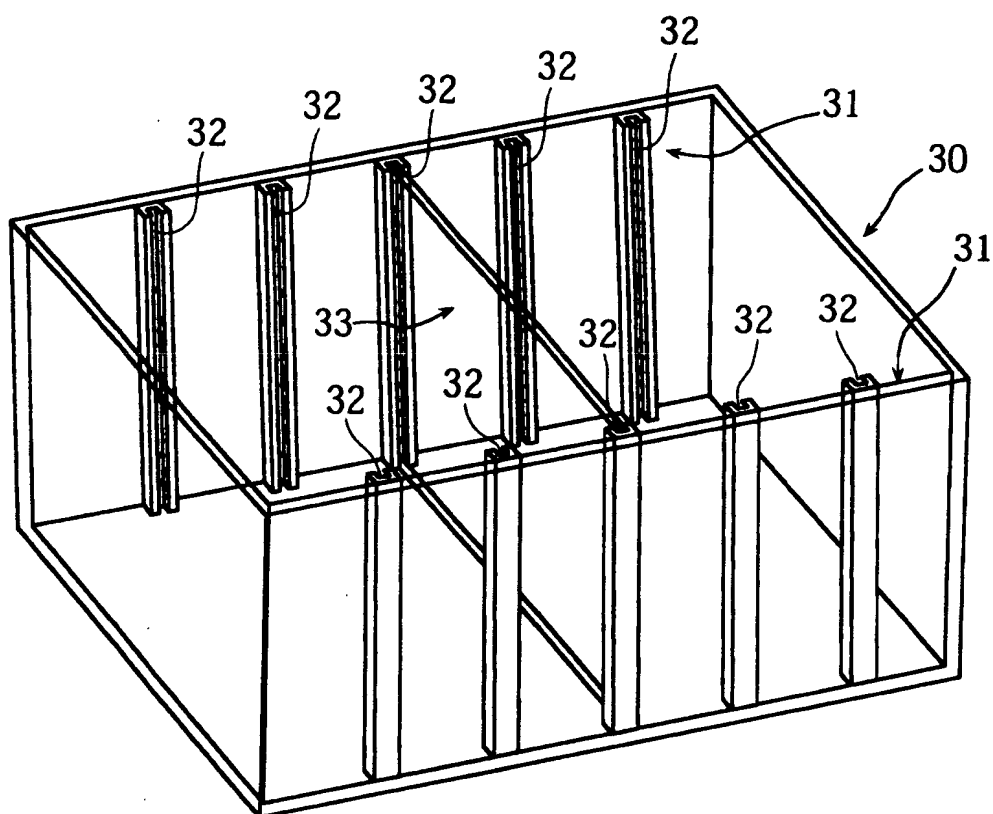
【図 7】



【図 8】



【図 9】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 容器本体への溝の成型が不要で、金型費用が安い飼育ケースを提供する。

【解決手段】 上方開口状容器本体 1 の内部を区画する仕切り壁片 2 が、容器本体 1 の上端開口縁 3 の平行な対辺 4, 4 に沿ってスライド自在に取付けられる。仕切り壁片 2 が、容器本体 1 の対辺 4, 4 に係脱自在に係止する上方抜止め用係止部 5, 5 を有する。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [3 9 7 0 5 5 6 7 6]

| | |
|----------|--------------------------|
| 1. 変更年月日 | 2 0 0 2 年 1 月 2 5 日 |
| [変更理由] | 住所変更 |
| 住 所 | 大阪府箕面市船場東 2 丁目 3 番 5 4 号 |
| 氏 名 | 株式会社三晃商会 |